

農山漁村地域整備計画評価調書

計 画 の 概 要	計画の名称	とやまの農業・農村振興プラン(第2期)
	計画策定主体	富山県
	対象市町村	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
	計画期間	平成27～31年度(5年間)
	計画の目標	富山地域では、農業者の減少や都市化・混住化の進展により、耕作放棄地の増加・農業水利施設の維持管理や洪水被害の増加などが課題となっており、農村地域における農業生産と農村コミュニティの向上など、農業・農村の活性化が求められている。 本計画では、富山県における農業・農村の保全・発展を図るため、「水と緑の王国とやま」が育む良質な農産物を供給する基盤づくりとともに、地域全体で農業生産を支えるなどの次代につなぐ生産体制の構築や優良農地の保全を推進し、「力強い農業」と「活力ある農村」の実現を目指す。
	定量的指標 (目標値)	指標①(農地整備) 生産基盤の整備を進め、農産物の多品種複合経営が可能となるような生産性の高い農地を3737ha整備する。(農地集積率 56% → 66% 10%向上) 指標②(水利整備) 良質な農産物の供給を支える農業水利施設として、ダム2箇所、水管理施設1箇所、農業用排水路15kmについて、補修等を組み合わせることで整備することにより、健全な機能を確保し、地区内農地への農業用水の安定供給を図る。 また、農業水利施設にかかる維持管理費の農家負担軽減の検討を1地域及び取り組みを11地域で行い、小水力発電施設での発電により年間6,800t相当のCO2排出量削減を図る。 指標③(農道整備) 基幹的な農道10kmの施設機能保全・整備及び落橋防止等の耐震対策を85橋(整備対策実施率90%→100%)を行うことで、農産物や農業資材の大量かつ安定的な供給を図る。 指標④(中山間地域総合整備) 中山間地域における生産条件不利地の解消として、農業用排水施設18km、農用地改良1.8haを整備し、耕作放棄地になる恐れのある農地面積の減少(4.4ha→2.6ha)を図る。 指標⑤(農業集落排水) 集落排水施設の機能強化を行い、農業集落排水施設における処理水の水質改善(BOD 20mg/l以下、SS 50mg/l以下)を図る。
	対象事業	農地整備事業、水利施設整備事業、農村整備事業
全体事業費	70,656,626千円	

評 価	項目	評価細目	評価	説明欄
	目 標 の 妥 当 性		1 関連する計画との整合性が図られているか	○
2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか			○	地域の課題である「農村地域における農業生産と農村コミュニティの機能低下」に対応した目標となっている。
整 備 計 画 の 効 果 ・ 効 率 性		1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適当な定量的指標の設定となっている。
		2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	「生産基盤整備農地面積」及び「機能確保施設数」により事後評価できる。
		3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	農地整備事業、水利施設整備事業、農村整備事業の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整 備 計 画 の 実 現 可 能 性		1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	関係市町との推進体制が整備されており、円滑に実施できる。
		2 地元の機運が醸成されているか	○	地元関係者は事業を十分に理解し、事業実施について了解している。
評 価 結 果		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">評価Ⅰ 事業を実施</div> 評価Ⅱ 計画の見直し		【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの